第30期 BUNRAKU

文楽研修生募集

国立文楽劇場では伝統芸能の伝承者を養成するため、文楽の研修生を募集します。

募集人員	若干名
研修期間	令和3年4月から令和5年3月まで（2年間）
受講料	無　料
応募資格	中学校卒業（卒業見込みを含む）以上の男子で、原則として年齢23歳以下の者。経験は問いません。
募集期間	令和2年10月1日(木)から令和3年2月4日(木)まで
選考試験	令和3年2月下旬から3月上旬予定

■作文、簡単な実技試験、面接を行います　■受験料は無料です

■選考場所は、国立文楽劇場（大阪市）です

協力：公益財団法人文楽協会

第26期 歌舞伎俳優研修生も募集中です　お問合せは **国立劇場養成課** TEL.03(3265)7105

独立行政法人日本芸術文化振興会
国立文楽劇場

お問合せ
企画制作課養成係 〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
TEL.06(6212)5529（平日 午前10時～午後6時　7/1、12/29～1/3を除く）
https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html［養成事業－研修生募集］

第30期 文楽研修生募集

人形浄瑠璃文楽は、太夫の語りと三味線弾き、人形遣いの三業が心をあわせて一つの舞台を作り上げる総合芸術です。江戸時代初期に大阪で生まれ、いつの時代でも変らない人間の情を描いてきました。今日ではユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されています。文楽の技芸員（太夫・三味線・人形）のうち約半数は、この文楽研修修了者です。あなたも将来、文楽の舞台での活躍を目指しませんか。

文楽研修

文楽の技芸員（太夫・三味線・人形）になるための基礎教育を行うことを目的としています。昭和47年（1972）に財団法人文楽協会（現・公益財団法人文楽協会）の協力を得て開始しました。

文楽への理解を深めるため、まず研修生全員が太夫・三味線・人形の基本を学びます。その後の適性審査の後、それぞれの専門分野にわかれて、より実践に近い技芸を習得していきます。

研修修了者は、幹部技芸員に入門して公益財団法人文楽協会に技芸員として所属し、舞台に出演することとなります。

- **研修期間**　令和3年4月から令和5年3月までの2年間
- **研修時間**　原則として、平日午前10時から午後6時まで。ただし、2年次は土曜日・日曜日・祝日や午後6時以降に研修が及ぶことも多くあります。
- **研修場所**　主に大阪の国立文楽劇場で行います。年4回の文楽の東京公演時は国立劇場（東京都千代田区）で行います。
- **研修科目**　義太夫・三味線・人形の基礎、舞台実習、公演見学のほか、技芸員になる上で必要な箏曲・胡弓・謡・狂言・日本舞踊・作法・講義（人形浄瑠璃の歴史、演目等）などを受講します。ただし、適性審査後は専攻に即した科目を中心に受講することとなります。
- **適性審査**　研修開始後8か月以内に適性審査を実施します。合格者は、専攻（太夫・三味線・人形）を決定します。不合格となった場合は、研修生の身分を失います。
- **受講料**　無料
- **宿舎**　遠隔地に居住する研修生に対し、審査のうえ宿舎を有料で貸与し、空室がない場合は住宅費補助金を交付します。
- 適性審査合格者には、研修期間中、伝統芸能伝承奨励費の貸与資格が与えられます。

太夫

太夫は、登場人物すべての台詞・心理・動作などを１人で語り分け、物語を展開していく重要な役割を担っています。専攻課程では、義太夫節独特の発声法や的確な表現の習得をめざして、様々な曲目を履修します。

三味線

文楽では、太棹と呼ばれる三味線を用います。三味線弾きはその太く低い響きにより、浄瑠璃の感情を表現します。専攻課程では基本奏法の習得に加え、音色で感情を表現することを学んでいきます。

人形

文楽では、一体の人形を主遣い・左遣い・足遣いの３人で操ります。３人のイキがひとつになって初めて、流れるような美しい演技が生まれるのです。研修では、人形遣いの出発点ともいうべき“足遣い”を中心に履修します。専攻課程に入ってからは、実際の文楽公演での舞台実習も多くなります。

※写真は研修風景です

「文化デジタルライブラリー」では、文楽の歴史や解説をご覧いただけます。
https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/

文楽　舞台芸術教材　検索

応募受付

募集期間　令和2年10月1日（木）から令和3年2月4日（木）まで（平日午前10時～午後6時）

選考試験　令和3年2月下旬から3月上旬予定

◎募集要項・応募書類の詳細、所定用紙のダウンロードは国立文楽劇場ホームページをご覧ください。
https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html［養成事業ー研修生募集］

Osaka Metro（千日前線・堺筋線）・近鉄日本橋駅下車7番出口より東へ徒歩1分

独立行政法人日本芸術文化振興会
国立文楽劇場
〈お問合せ〉企画制作課養成係　平日午前10時～午後6時（7/1及び12/29～1/3を除く）
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号　TEL.06（6212）5529